2016.11.3

主任介護支援専門員研修におけるスーパービジョンについて

1. 主任CM研修（全１２日間）のうち７日間は、スーパービジョン（以下SV）に関する研修となります。

SVとは、専門職を一定レベルまで引き上げる研修技法の一つです。

一般的には、教育・支持・管理（評価）の機能を持っています。

1. 専門職（CM）が、その専門性を向上させ、より良い援助を行うために、実際に関わった（関わっている）事例を用いた振返り研修を行います。

「生事例」を使用する理由は、現場での実践事例に勝る教材はないためですし、デモ事例では現実味に欠け、何より実践の振返りとはなりません。

1. 受講生の皆さんには、別紙：記載例を参照の上、自らの実践事例（直接関わったケース）についてまとめ、その振返りを提出していただきます。

提出は１１月２３日（水・祝）、本研修第３日目の朝受付時です。

1. 既に居宅介護支援契約が終了したケースでもいいですし、現在進行形のケースでも結構です。

皆さんの数ある実践の中で、「心残りがあるケース」や「うまく支援出来なかったケース」、または、「自身の援助過程や援助の傾向を振返りたい」といったケースを選んで下さい。（個人が特定できる情報は伏せて下さい）

1. 提出いただいたシートは、必ずコピーを保管しておいて下さい。
2. 第一弾として、第４～６日目で使用する合計６人（ケース）の事例を選定します。選ばれた方には事務局より直接連絡を差し上げますので、提出ケースに関しての追加資料の作成をお願いすることとなります。
3. 本来のSV研修は、このような環境で強要されて行うものではありませんが、主任CM研修に於いての事例提出は「任意」ではなく「必修」です。「指名拒否」は出来ませんのであらかじめご了承ください。
4. ご質問等は、担当　山本までお尋ね下さい。電話　090－8403－7673